

第16期 中間報告

2007年4月1日 ▶
2007年9月30日

株主通信



グリーンホスピタルサプライ株式会社



GREEN HOSPITAL SUPPLY

証券コード：3360

社長メッセージ



代表取締役社長

古川 國久

「進化」と「成長」はとまらない

激変する市場・業界環境に対応し、

クライアントが求めるバリューチェーンを構築してまいります。

ごあいさつ

当社グループは、「S.H.I.P.」の経営理念のもと、医療・保健・福祉の3分野を事業ドメインと定め、医療機関とのパートナーシップを軸に、業界のイノベーターとして急速に成長してまいりました。そして、本年3月には設立後15年で東証1部への上場を果たしております。しかしながら、この東証1部上場は、「地球と地域にやさしい“生命を守る人の環境づくり”を目指して」をアイデンティティとする当社グループにとってはスタートラインであり、東証1部上場の格調高い中小企業としてより一層の高みに向けて、積極的に取り組んでいくことが求められていると痛感しております。

当社グループは、経営理念である「S.H.I.P.」の名を冠し、トータルバックシステム事業、メディカルサプライ事業、ヘルスケア事業、調剤薬局事業の4事業で構成されておりますが、この思いのもと、現在、事業の基盤となるグループの再編・整理を進めております。このように東証1部上場を新たなスタートラインとして、今後の事業の発展性を見定め、急速に業容を拡大する事業体制、M&Aなどにより傘下に収めた各社、各グループの再編・シナジーの創出を図り、次なる成長に向けた基盤整備を進めております。

当社グループが次なる成長に向けた基盤整備を急ぐ中、当社グループのメイン市場である医療業界は、2000年を境とする制度改革や規制緩和などにより、その市場環境が激変し、昨年度の診療報酬改定においては過去最大幅の下げとなったことを契機として、医療機関に対する医療の質、コスト管理に対する要求が厳しくなっております。

この結果、病院等の医療機関へ薬・物品などを卸していた流通業者に対しても、より安くより高品質の商品供給に対する要求が高まり、この要求に応えられない業者は、淘汰される傾向が出てきております。また、このことを契機に、従来複数の流通業者と

取引を持っていた医療機関が効率を求め、単一企業によるワンストップソリューションへのニーズが急激に高まってきております。

言い換えますと、医療機関に対する市場が再編・淘汰され、あらたな市場を形成し始めていることに他なりません。当社グループはこの再編・淘汰されつつある市場を予測し、既に多くのワンストップソリューションの実績を誇りますが、大手商社の参入、大手医薬品卸会社の事業拡張など競争が激しくなる中で、先行するノウハウと実績、グループ力を活かし、クライアントの求める最高のバリューチェーンの構築を目指してまいります。

グループアイデンティティ

地球と地域にやさしい
「生命を守る人の環境づくり」
を目指して

グループ理念

S. H. I. P.

Sincere + Humanity + Innovation + PartnerSHIP

(誠実な心) (「情」の心) (革新者の気概) (パートナーシップ)

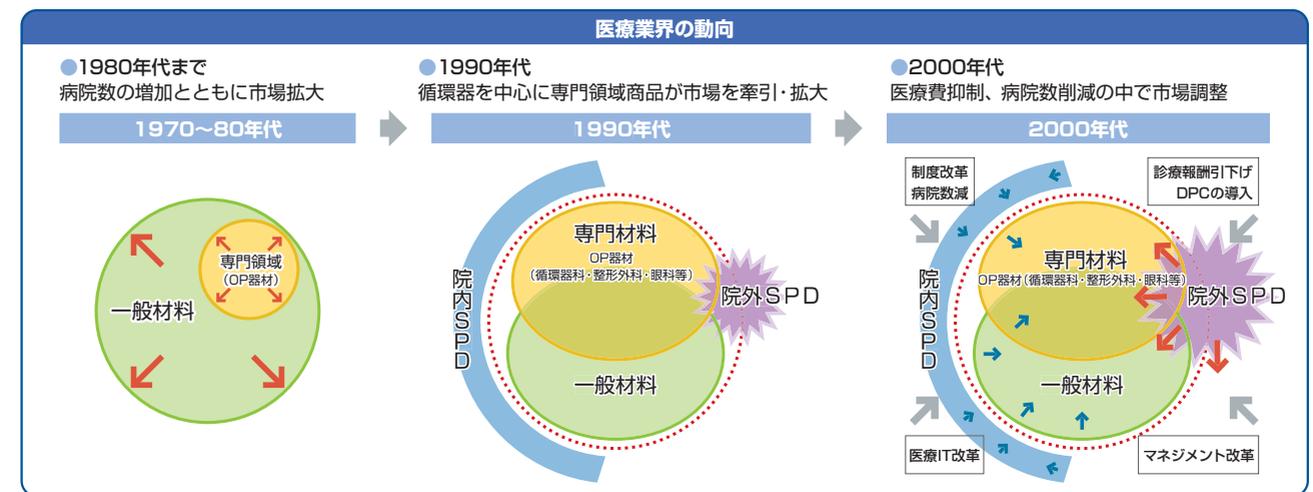
SHIP グループ

トータルバック
システム事業

メディカルサプライ事業

調剤薬局事業

ヘルスケア事業



グループパワーの強化を図る

当社グループでは積極的に進めてきたM&A戦略をより効果的にするため、グループパワーの強化とシナジー効果の最大化を目指していきます。



グループシナジーと地域ディーラーとの共生による新規市場の開拓

病院サイドにおける経営・運営の効率化が図られ、取引業者が絞られてきている中では、早期に多くの顧客を獲得することが、今後の成長・事業展開において重要となります。当社グループでは、積極的に進めてきたM&Aなどにより、グループ企業のネットワーク、機能を活用し、新規顧客の開拓を進めています。その1つとして、セントラルユニグループに属している(株)エフエスユニマネジメントが持つネットワークと院内SPDセンターの運営ノウハウを活用し、院外SPD市場を拡大させていく取り組みがあります。これは、受発注のシステム運営に加え、

実際の物品調達、物流機能をトータルで請負うシステムを導入することにより、当社グループのサービスプロバイダー機能の新たな市場開拓にもつながります。また、医療機関への流通業界は歴史的にそれぞれの地域に有力ディーラーが存在し、大きな役割を担っています。当社グループは、新規市場の開拓を行うにあたり、この有力ディーラーとの協業を念頭に、それぞれ互いに補完し合う形で共存共栄の関係を築き、グローバルなシステム、機能と地域密着のサービスを展開していきます。



各社の役割の明確化とグループとしての統合

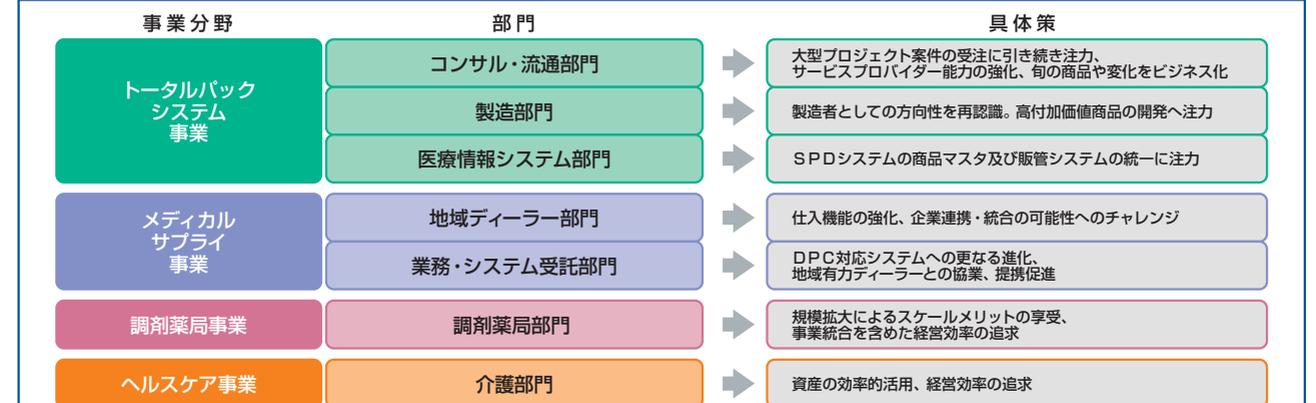
当社グループは、「進化」と「成長」のために、M&A戦略を積極的に進めてきました。前期(2007年3月期)は、株式会社セントラルユニをはじめ11社、当中間期においては、7社がグループ会社となりました。それぞれのM&Aにはグループ事業のスケール拡大、機能の補完・拡充などの効果を出しておりますが、より効果的なグループ運営を図るため、再度各社の役割と機能を明確化し、集約することが重要な課題となってきています。このグ

ループ企業各社をそれぞれに見直すことにより、当社グループは、個々においても強い企業の集団として全体でのグループパワーを高めていきます。また、グループ各社間のシナジー効果をさらに高めていくために、グループに共通する基幹システムを再構築し経営効率の向上に努めていきます。

2007年9月中間期の主なM&A

株式会社ハートライフの連結子会社化		クオンシステム株式会社の連結子会社化	
商号	株式会社ハートライフ	商号	クオンシステム株式会社
所在地	東京都世田谷区宮坂三丁目12番17号	所在地	東京都豊島区西池袋一丁目44番1号
代表者	湯澤 秀昭	代表者	久保田 洋充
設立	昭和63年7月2日	設立	平成12年8月24日
主な事業内容	医療機器及び医療用具の販売	主な事業内容	物品管理システムの開発及び販売
資本金	1,000万円	資本金	1億7,856万円
発行済株式総数	100株(当社所有割合100%)	発行済株式総数	4,109株(当社所有割合72.6%)

当社グループの基本戦略



トピックス

S.H.I.P.グループ

金剛山研修の開催



人材強化・優れた「人づくり」を目指して

当社グループでは人材育成の一環として「金剛山研修」を定期的に行っています。

この「金剛山研修」とは、新入社員から役員まで全社員が、役職ごとに年一回金剛山に登頂し、山頂の宿舎にて1泊2日で研修を行うものです。

本研修では、医療に対する倫理観の醸成やモチベーションの向上などの精神的な面や、専門的コンサルティング能力の向上、今後の戦略等についての議論、目的の共有化によるチーム力の強化などの様々な研修プログラムによって、当社グループにとって欠かせない「人づくり」につながる充実した研修となっています。

当社グループは、医療・保健・福祉という専門分野におけるリーディングカンパニーとして、専門的コンサルティング能力の育成や事業ノウハウの提供・開発のために、人材強化や優れた「人づくり」は重要な経営課題と認識しております。「10年で一人前のコンサルタントを育てる」をキーワードに今後も引き続き人材教育に力を入れていきます。

昨今、ペットが人間との精神的関係も含めた相互作用をもたらす「伴侶動物」として、かけがえのない家族の一員として迎えられる時代となってきております。千里桃山台動物病院(当社グループのグリーンアニマル(株)が運営/2006年4月開院)では、このような時代背景のもと、CT・MRIによる高精度の診断提供、できるだけ苦痛を与えない低侵襲治療など、動物と地域にやさしい「生命と人の環境づくり」の実践に努めております。

開設初年度は立上げ費用等の影響もありましたが、現在では来院数も堅調に推移し、さらにはペットホテルやグルーミングサービス(ペットの日常の美容ケア)なども提供する会員制Life Clubの会員数も順調に増えております。

当社グループならでの事業・機能の1つとして、今後とも動物および飼い主様に満足してもらえる心のこもったサービスを提供してまいります。

人と同様に動物にも高度な医療を提供

千里桃山台動物病院



住所：〒565-0853
大阪府吹田市春日
3丁目20番8号

TEL：06-6190-5100
FAX：06-6190-5120

緑地公園～桃山台「新御堂前」西側隣接



連結財務ハイライト / 事業別の概況

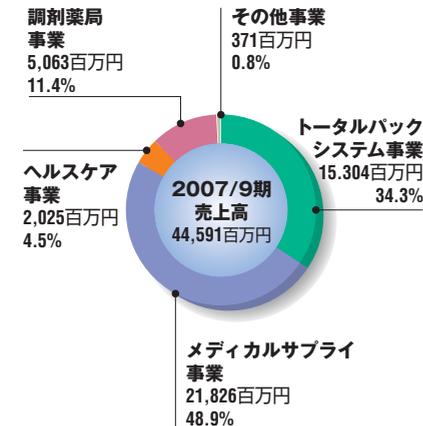
連結財務ハイライト

(単位:百万円)

	2005/9	2006/3	2006/9	2007/3	2007/9 (当中間期)
売上高	22,012	62,229	31,167	78,845	44,591
営業利益	775	3,229	1,307	3,297	382
経常利益	811	3,327	1,416	3,643	614
中間(当期)純利益	513	1,696	613	2,468	△92
総資産	47,254	64,435	65,020	90,213	94,572
純資産	10,276	18,316	18,355	25,726	25,051

事業別の概況

事業別売上高構成比



調剤薬局事業

昨年度の薬価改定の影響から当業界全般に経営環境が落ち着きを取り戻したことを受けて、業績は順調に推移しております。加えて、前期末に連結子会社化した(株)仙台調剤の業績寄与と本年8月より会社分割によりグループ化した4店舗の売上も寄与したことなどから、対前年同期比較において大幅な増収と増益を果たしました。

以上の結果、売上高は5,063百万円(前年同期比77.2%増)、営業利益は181百万円(同123.2%増)となりました。

トータルバックシステム事業

既存取引先の医療機器更新需要が堅調に推移したことに加え、大型プロジェクト案件の一部が前倒しで売上となったことにより、当初予定以上の売上高を確保いたしました。また、第5次医療法改正をみた上で新・増築計画の大型プロジェクト案件をスタートする大規模病院が当中間期に集中したことを受けて、積極的なコンサル受注活動を展開し、2009年度以降完成の大型プロジェクト案件のコンサル業務を受注することができました。さらには、病院経営が厳しさを増すことにより病院再生案件や病院M&A案件の受注も好調に推移しております。

前期に連結子会社となりました(株)セントラルユニは、収益性の高い医療設備機器の売上減少に加えて、原材料の高騰等により、当初計画より減収となりましたが、(株)エフエスユニの医療ガス供給設備のメンテナンス業務は順調に件数を伸ばしたことにより、セントラルユニグループではほぼ当初計画どおりの業績となりました。

一方で、前期末に当社グループのグループ内の情報システム部門の充実と医療情報システムの戦略商品開発やシステム提案能力の向上等を企図して連結子会社化したアイネット・システムズ(株)は、大規模病院向け電子カルテシステム市場の急速な価格競争時代への対応ができず業績が低迷することとなりました。

以上の結果、売上高は15,304百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は97百万円(同92.8%減)となりました。

メディカルサプライ事業

院外SPDシステムによる新規取引先は3件増加し、順調に業績を伸ばしており、加えて、グループ会社である誠光堂(株)も初めて院外SPDシステムによる売上先1件を確保し、本年4月より供給を開始しております。加えて、前期に連結子会社となりました(株)エフエスユニマネジメントが、病院内物流管理受託業務の契約件数の伸張とともに、診療材料の一括調達業務を新規ビジネス展開し、順調に件数を伸ばしてきました結果、対前年同期比較において大幅な増収と増益を果たしました。

以上の結果、売上高は21,826百万円(前年同期比84.1%増)、営業利益は584百万円(同39.7%増)となりました。

ヘルスケア事業

介護付有料老人ホーム事業においては、本年6月に第5号施設「アクアマリン西宮浜」(定員100人、ユナイトライフ(株)が運営)が開設し、前期末の全施設の入所者数が486名であったところ、当中間期末には全施設の入所者数が622名となりました。

以上の結果、売上高は2,025百万円(前年同期比45.1%増)となりましたが、介護付有料老人ホームの新規開設費用等が影響し営業損失は39百万円(同比一)となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間期 2007年9月30日現在	前中間期 2006年9月30日現在	前期 2007年3月31日現在
【資産の部】			
流動資産	54,685	37,080	54,179
現金及び預金	7,363	8,755	13,833
受取手形及び売掛金	28,068	21,373	30,049
たな卸資産	7,574	2,798	5,649
短期貸付金	9,119	3,079	2,381
その他	2,760	1,165	2,367
貸倒引当金	△ 201	△ 91	△ 101
固定資産	39,886	27,939	36,033
有形固定資産	20,013	17,985	18,108
建物及び構築物	6,914	7,756	7,017
賃貸資産	1,504	2,042	1,885
土地	5,678	5,164	5,656
賃貸土地	2,440	2,654	2,691
その他	3,475	367	858
無形固定資産	9,900	2,209	7,943
のれん	9,294	2,132	7,499
その他	605	76	443
投資その他の資産	9,972	7,745	9,981
長期貸付金	4,465	4,315	4,612
その他	5,803	3,716	5,680
貸倒引当金	△ 295	△ 287	△ 311
資産合計	94,572	65,020	90,213

	当中間期 2007年9月30日現在	前中間期 2006年9月30日現在	前期 2007年3月31日現在
【負債の部】			
流動負債	46,642	31,786	43,462
支払手形及び買掛金	25,018	19,738	27,210
短期借入金	11,982	5,819	5,951
一年以内返済予定長期借入金	2,878	1,089	2,077
未払法人税等	884	793	1,500
賞与引当金	680	281	603
役員賞与引当金	10	19	21
工事損失引当金	9	-	9
その他	5,178	4,044	6,087
固定負債	22,878	14,877	21,024
社債	2,591	2,966	2,939
転換社債型新株予約権付社債	20	-	-
長期借入金	18,426	10,386	16,256
退職給付引当金	1,054	111	1,071
役員退職慰労引当金	49	43	47
その他	736	1,369	709
負債合計	69,520	46,664	64,486
【純資産の部】			
株主資本	19,047	17,785	19,641
資本金	5,667	5,667	5,667
資本剰余金	6,593	6,593	6,593
利益剰余金	6,787	5,526	7,381
自己株式	△ 0	△ 0	△ 0
評価・換算差額等	392	548	421
その他有価証券評価差額金	392	548	420
為替換算調整勘定	△ 0	-	0
新株予約権	2	-	2
少数株主持分	5,609	21	5,662
純資産合計	25,051	18,355	25,726
負債純資産合計	94,572	65,020	90,213

連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 2007年4月1日~ 2007年9月30日	前中間期 2006年4月1日~ 2006年9月30日	前期 2006年4月1日~ 2007年3月31日
売上高	44,591	31,167	78,845
売上原価	38,883	27,591	68,815
売上総利益	5,707	3,575	10,030
販売費及び一般管理費	5,324	2,268	6,733
営業利益	382	1,307	3,297
営業外収益	549	334	789
営業外費用	318	226	443
経常利益	614	1,416	3,643
特別利益	131	-	1,635
特別損失	3	3	164
税金等調整前中間(当期)純利益	742	1,412	5,114
法人税、住民税及び事業税	888	734	2,176
法人税等調整額	△95	62	253
少数株主利益	42	2	215
中間(当期)純利益又は中間純損失(△)	△92	613	2,468

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間期 2007年4月1日~ 2007年9月30日	前中間期 2006年4月1日~ 2006年9月30日	前期 2006年4月1日~ 2007年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 1,201	△ 1,317	1,337
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 10,881	△ 6,651	△ 10,511
財務活動による キャッシュ・フロー	6,677	6,070	9,833
現金及び現金同等物に係る 換算差額	0	-	0
現金及び現金同等物の 増加(△減少)額	△ 5,405	△ 1,898	659
現金及び現金同等物の 期首残高	11,218	10,558	10,558
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	5,813	8,659	11,218

連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等			新株予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2007年3月31日残高	5,667	6,593	7,381	△0	19,641	420	0	421	2	5,662	25,726
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 501		△ 501						△ 501
中間純損失			△ 92		△ 92						△ 92
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)						△ 27	△ 0	△ 28		△ 53	△ 81
中間連結会計期間中の変動額合計	-	-	△ 593	-	△ 593	△ 27	△ 0	△ 28	-	△ 53	△ 675
2007年9月30日残高	5,667	6,593	6,787	△ 0	19,047	392	△ 0	392	2	5,609	25,051

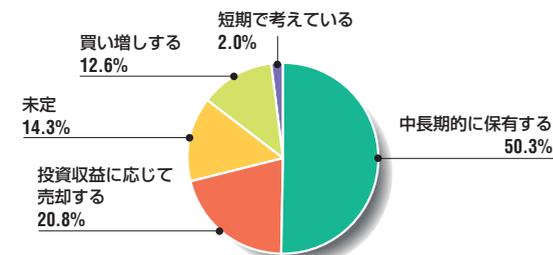
株主アンケート集計結果のご報告

アンケートへのご協力
ありがとうございました。

第15期株主通信において株主の皆様へのアンケートを実施させていただいた結果、332名の株主様よりご回答を頂戴いたしました(2007年9月30日現在)。ご協力、心より感謝申し上げます。集計結果や株主の皆様のお声の一部を、ここにご紹介いたします。

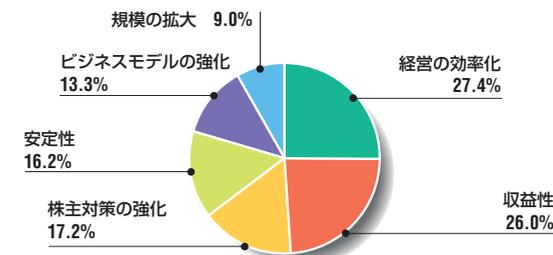
当社株式の今後の保有方針(1点選択)

当社株式の今後の保有方針を伺った結果、前回よりも3.9ポイントダウンしたものの、前回に引き続き「中長期的に保有する」(50.3%)が第1位で過半数を占めるに至りました。しかしながらこの結果に決して慢心することなく、皆様からの一層のご支援を賜るべく、各経営戦略を着実に推進し、全グループ会社一丸となって企業価値の向上に努めてまいります。



当社経営で重視すべき内容(上位3点選択)

当社経営について何を重視すべきか伺ったところ、「経営の効率化」(27.4%)および「収益性」(26.0%)の上位2点で過半数を占める結果となりました。先の社長メッセージや特集でもご説明させていただきましたが、このような株主の皆様からのご意見や期待にも応えられるよう、グループパワーのさらなる向上、各グループ会社の再編・基盤整備に努めていく方針です。



その他主なご意見など

<経営に対するご意見の一部>

- 医療機関とのパートナーシップがビジネスの基本ということであるが、患者や介護老人の立場視点を忘れずに独善的収益追求に走らないようにして頂きたい。
- グループ会社が多すぎて管理とか効率の点で危惧する。
- 人命に関する領域での企業運営であることを肝に銘じて、成長と収益を求めあまり、コンプライアンス無視には特に気をつけてください。
- 医師不足、病院経営その他M&A大変化の予兆あり。対応をスムーズに。

<その他様々のご意見の一部>

- 業績に比べ、市場での評価がいまひとつです。知名度を上げるために何か考えては。
- 株主優待制度の検討をお願いしたい。
- 株主通信について人材育成に関して説明があるとよいと思います。
- 夢と活力に富んだ株主通信であった。理想を高くさらに発展して社会に貢献して欲しい。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆様より多くのご意見・ご要望等を頂戴いたしました。その中で特徴的だったのは、以前にも増して、当社事業の社会的意義や公共性に対してご支援やご賛同の言葉を数多く頂いたことでした。昨今の社会情勢を鑑みると、当社の果たすべき役割は益々大きくなってきています。今後の着実な成長、株主還元への取り組みは勿論のこと、当社へのご理解を一層深めて頂けますようIR活動にも積極的に努め、株主の皆様から愛されるSHIPグループの形成を目指してまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

会社情報及び株式関連情報

(2007年9月30日現在)

会社概要

商号	グリーンホスピタルサプライ株式会社
設立	1992年8月
代表取締役社長	古川 國久
資本金	56億6,708万円
決算月	3月
従業員数	連結1,552名/単体166名
本社所在地	〒565-0853大阪府吹田市春日3丁目20番8号 TEL : 06-6369-0092(代) FAX : 06-6369-3191
事業所	大阪、東京、広島

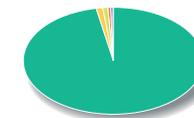
大株主

株主名	所有株式数	所有割合
古川 國久	34,285株	10.26%
有限会社コッコ	33,819株	10.12%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	23,432株	7.01%
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505202	22,600株	6.77%
古川 幸一郎	15,850株	4.75%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,100株	4.52%
三井アセット信託銀行株式会社	11,504株	3.44%
グリーンホスピタルサプライ株式会社従業員持株会	9,393株	2.81%
資産管理サービス信託銀行(年金信託口)	8,020株	2.40%
石川 幸司	7,422株	2.22%

株式分布状況

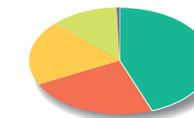
●株主数別分布状況

自己名義株式	1名/0.02%
証券会社	29名/0.51%
金融機関	37名/0.66%
その他法人	51名/0.90%
外国人等	63名/1.11%
個人・その他	5,485名/96.80%



●株式数別分布状況

自己名義株式	17.50株/0.01%
証券会社	2,977.00株/0.89%
その他法人	38,665.00株/11.58%
外国人等	48,436.00株/14.50%
金融機関	84,799.00株/25.39%
個人・その他	159,135.50株/47.63%



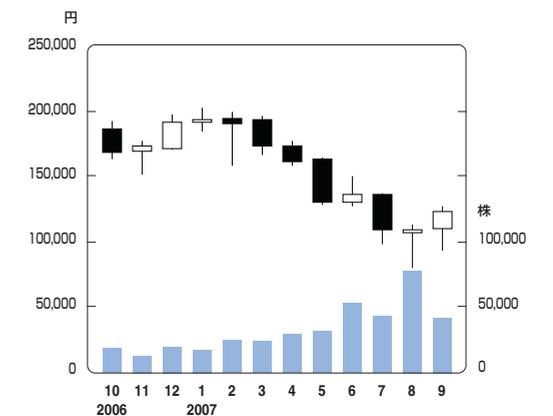
役員

代表取締役社長	古川 國久
代表取締役副社長	伊藤 忍
専務取締役	小川 宏隆
取締役	播戸 健
取締役	小林 宏行
取締役	沖本 浩一
取締役	黒田 敏史
取締役	滝川 博三
社外取締役	和田 義昭
取締役	村田 善政
取締役	大山 文明
常勤監査役	竹原 靖昌
社外監査役	水野 昌也
社外監査役	細川 信義

株式の状況

発行可能株式総数	540,000株
発行済株式総数	334,030株
株主数	5,666名

株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月中	
基準日	(定時株主総会)	毎年3月31日
	(期末配当金)	毎年3月31日
単元株式数	1株	
株主名簿管理人	住友信託銀行株式会社 大阪市中央区北浜四丁目5番33号	
同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部 大阪市中央区北浜四丁目5番33号	
(郵便物送付先)	住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10	
(電話照会先)	[住所変更等用紙のご請求]	☎0120-175-417
	[その他のご照会]	☎0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店	
端株買取請求取扱場所	上記株主名簿管理人がお取扱いいたします。	
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL(http://www.ghs-inc.co.jp)	

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

グリーンホスピタルサプライ株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL:06-6369-0130(IR窓口) FAX:06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<http://www.ghs-inc.co.jp>